

宇都宮市立緑が丘小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・基礎基本を定着させるための取組	・一人一人が考えたことを書いたり表現したりする力の育成を図る。 ・授業の中で必ず「めあて・まとめ・ふりかえり」を行い、授業の焦点化を図る。	・話すこと・聞くことの正答率が63.9％、書くことの正答率が57.2％で、ともに市の平均よりも5.6ポイントと大きく下回っている。国語や算数の基礎問題の正答率も市の平均をやや下回っている。また1～6年生までの「自分から進んで勉強している」意識の肯定割合は、平均して79.1％である。
・知識・技能を活用する力を育成するための取組	・話し合いや1人1台端末を活用し、多角的な見方ができるようにする。 ・振り返りを通して集団の学びを個の学びに返し、個の学習を深められるようにする。	・知識・技能に関する問題の正答率は、どの教科も市の平均をやや下回っている。知識・技能を活用した思考・判断・表現に関する問題の正答率も同じく市の平均をやや下回っている。また、1～6年生までの「勉強はおもしろい」という意識の肯定割合は、平均して84.3％である。
・学ぶ意欲をもち続けるための取組	・互いに認め励まし合い、学びに向かう学級集団づくりを行う。 ・家庭学習等では、個人に適した学習を行いながら自己調整力を育む。	・家庭学習の時間は1～4年生までは30分～1時間、5・6年生では1時間くらいが最も多い。3～6年生までの「自分で計画を立てて家庭学習を行っている」割合は、平均して65.2％である。また、1～6年生までの「わかったりできるようになることはうれしい」という意識の肯定割合は、平均して91.9％である。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・学力調査の結果は市の平均と同じか下回っている。次年度は、基礎基本が確実に身に付くように、AIドリルや復習用教材などを活用し、漢字や計算、各教科の基本的な知識の定着を図っていききたい。また、各教科のデジタル教科書を活用しながら、学年ごとに系統立てて既習事項の復習を行ったり、未習事項への学ぶ意欲に結び付けたりしていききたい。さらに、ICTを効果的に活用したり、話し合い活動を活発化したりしながら、主体的・対話的な学びを実現することで、深い学びを得ることができるよう授業を展開していききたい。また、朝の学習や自主学習などの機会を利用し、個別最適化した学習を行ったりしていききたい。